

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3038	(H.24)No.	3038
-----------	------	-----------	------

事務事業名		開業医救急車受入支援補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療体制担当 / 地域医療室		岩名静枝 / 富岡憲子	63-7579
新・継	事業期間		根拠法令等		
新規	平成	22年度～	平成	年度	名張市開業医療機関救急搬送患者受入支援補助金交付要綱

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	250506
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	開業医救急車受入支援補助金	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>本市の救急医療に対応するため、名賀医師会に所属する開業医療機関に対して、名張市消防本部の救急車で搬送される患者(以下「救急搬送患者」という。)の受入れについて協力をお願いするとともに、その受入れに対する支援を行うことにより、救急医療体制の補完および充実を図る。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>開業医療機関における救急搬送患者の受入れ体制を充実させることにより、安定的な救急医療体制を確保するとともに、二次救急医療機関の負担軽減を図る。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	総事業費 3,305,000円 【内訳】 1. 10,000円×215件=2,150,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで  2. 5,000円×231件=1,155,000円 上記以外のとき	予算額 3,600,000円 【内訳】 1. 10,000円×240件=2,400,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで  2. 5,000円×240件=1,200,000円 上記以外のとき	補助金・交付金		
	4,000千円	4,400千円	4,800千円	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費	3,305千円	3,600千円	4,000千円	4,400千円	4,800千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他( )				
一般財源	(0) 3,305	3,600	4,000	4,400	4,800
人工数	職員 0.04人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 292千円	365千円	365千円	365千円	365千円
+ 総事業費	(0千円) 3,597千円	3,965千円	4,365千円	4,765千円	5,165千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	480
	実績		372	334	406	446	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.6	41.2	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<p>当事業は平成22年度から始まったが、23年度の開業医への搬送件数は、前年度に比べ約10%増加した。市民意識調査中、開業医・公立病院等、地域医療体制に満足している23年度の市民の割合は22年度に比べ7.6ポイント増加している。これは一次医療、二次医療の役割分担や連携により、地域医療体制が改善されたことによるものと思われる。また、審査委員会において提案があった救急車の有料化については、軽症者の判断や社会的な理由により救急車を利用せざるを得ない方もいることから導入は困難であると考え。</p>	<p>地域で安心できる医療体制を整備するため、今後も事業を継続する。</p>

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>高齢化の進展により、医療ニーズも増加することが予想されるため、引き続き地域医療体制の確保に向けた取り組みが必要である。</p>	<p>市内もしくは伊賀地域において救急患者を受け入れる体制を確保すること。審査委員会ヒアリングにおいては、救急車の適正利用について市民に啓発すること、救急車利用の有料化に関する意見があった。</p>

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合	
<p>(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できる</p>	<p>救急車の適正利用、かかりつけ医を持つこと、早めの医療機関への受診などの啓発</p>	
<p>(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できない</p>		
<p>(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できない</p>		
<p>(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない</p> <p>ある</p>		<p>桔梗が丘地区基本施策「生きがい・健康」小施策「医療機関の確保」市立病院の機能強化</p>
<p>(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)</p> <p>反映済み</p>		<p>一次医療・二次医療の役割分担が改善され、市立病院の二次医療患者の受入体制が強化された。</p>
<p>(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できない</p>		

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

<p>[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)</p> <p>継続(事務改善)</p>
<p>「継続(現行)」の場合のみ理由を記載</p>

特記事項